**報告書**

|  |  |
| --- | --- |
| クラス番号 | R4SA01 |
| 氏名 | 青木宇宙 |
| 提出日 | 2021/05/28 |
| 期間 | 2021/05/24 ~ 2021/05/28 |

**研究テーマ：**

見やすさ（ユーザビリティの向上）

卒業研究にあたって私たちのチームは、現在行っている課題提出を新たなwebアプリを作成し、管理などを行いたいと考えております。

現在の状況

学校や企業とのやり取りをGmailやOutlookで管理しているため、情報をすぐに取り出すことや課題のみを管理することが困難と感じている。

研究観点

新たなアプリを作成し、学校とのやり取りをどうすれば見やすく感じるか、どのような条件だと不満に感じるかなどに観点を置き、様々な可視化方法を使い、ユーザビリティの向上につなげられるような研究を行う

**確認事項**：

１．個人の作業内容（今週・来週・現在の工程）

２．現状の問題点

３．問題点に対する対策

４．メンバーの作業内容

５．メンバーの進捗

６．全体のスケジュール（メンバーの現在の工程・年間）

７．全体の進捗

８．来週の予定（メンバー・チーム）

９．現状の問題点（メンバー・チーム）

１０．問題点に対する対策（メンバー・チーム）

**１．個人の作業内容（今週・来週・現在の工程）**

今週

作業方針の作成：方針としてリーダー個人、画面チーム（清さん、長井さん）、DBチーム（渡部くん、澤野くん）に分かれ、作業を行うことにした。

要件定義書作成

研究資料集め

来週

研究資料を集め、研究を進める。

現在の工程

研究資料集め

**２．現状の問題点**

リーダーとして、チームの進捗管理や問題点に対する知識やフォローができていない。

**３．問題点に対する対策**

チームで話し合う機会を多く設け、チーム間で助け合いがすぐできるようにする。

**４．メンバーの作業内容**

清さん

・Djangoのチュートリアル

・画面レイアウトの作成

長井さん

・先週チーム内で出た問題点についての話し合い

・djangoチュートリアル

・画面レイアウトの統合案作成

渡部くん

・Django環境構築

・DB連携

澤野くん

・Django administration(管理ツール)の使い方

・Djangoのモデルとデーターベースの学習

**５．メンバーの進捗**

しばらくは画面チームとDBチームの進捗度で表します。

画面チーム（30％）

レイアウトを整え、研究を行う

DBチーム（20%）

環境づくりとSQLの選定

**６．全体のスケジュール（メンバーの現在の工程・年間）**

メンバーの現在の工程

画面チームとDBチームに分かれ、作業を行ってもらっています。

画面チームにはレイアウト案を軽く整えてもらっています。

DBチームはDBを使用できる環境づくりやチームに共有できるよう学んでもらっています。

年間

研究テーマである「見やすさ（ユーザビリティの向上）」を開発と同時に調査や相談を交え、開発期間全体を通して行っていこうと思っております。

**７．全体の進捗**

完成（発表できる状態）が100％とすると、まだ15％ほどだと感じます。

今週で研究を進めていかないといけない、とアプリ開発と研究テーマの関わりの重要性を感じることができたのは、とても大きな進捗であると思います。

**８．来週の予定（メンバー・チーム）**

（これからしばらくは画面チーム・DBチーム分けて書いていきます）

メンバー

画面チーム

レイアウトを整えてもらい、終わり次第、研究課題であるユーザビリティの向上について研究を行ってもらう。

DBチーム

引き続きDBの環境づくりやSQLの選定をしてもらい、チームメンバーに説明できるようになってもらう。

チーム

授業開始時などに何度か話し合ったりして、現状報告や問題点の有無などを共有する機会を多く設ける。

**９．現状の問題点（メンバー・チーム）**

メンバー

画面チーム

　　 　研究がまだ全然進んでいないため、根拠をもって作成をすることができない。

　画面設計でどの画面が必要になるかを把握しきれていない。

DBチーム

　どのSQLを使えばいいのかがわからない。

　本番環境で対応できるかがわからない。

チーム全体

絶対にできるという根拠が少なく曖昧であること。

**１０．問題点に対する対策（メンバー・チーム）**

メンバー

画面チーム

変更がすぐに効くように作成していたレイアウト案を軽く整えてもらい、終わり次第リーダーが進めている研究に混ざってもらい、意見交換や研究を進め、レイアウトもブラッシュアップしていく。

DBチーム

ひとまずテストデータとして、個人IDとパスワードが実際に入り、VScodeで参照することができるかを試してもらう。それで問題が起こる場合や、本番環境で動かない場合、他のSQLに移行することも考慮しておく。

チーム

研究をすすめ、根拠となるものを集める。

環境などの土台となる部分はしっかりチームで話し合い、資料にまとめる。

話し合いの機会を現状より少し多めに設けること。

※まだDjangoチュートリアルやDB環境を作成してもらっている段階なので、ローカルで学習してもらっています。そのためGithub上にはソースコードを上げていません。

作成したものなどはOneDriveで共有しております。下記のURLから参照お願いします。

（もし参照できない場合、許可を振りたいので、青木宇宙のGmailにoffice365アカウントのメールアドレスを送っていただきたいです。お手数をおかけしますがよろしくお願いします。）

https://ocsjoho-my.sharepoint.com/:f:/g/personal/ocs\_2018016\_ocsjoho\_onmicrosoft\_com/Ep-Yx6Zz4BNMuMlKUgiJAlEBP7NHux2ZImPBj8W6BhGJXA?e=ENPcXG